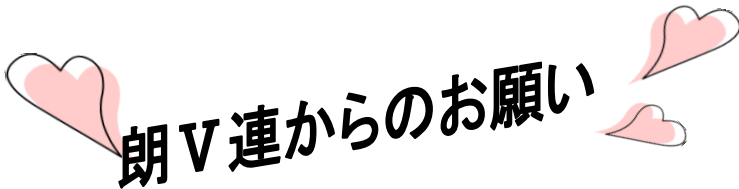


発行日 平成24年2月15日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁目3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

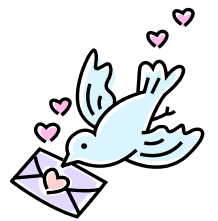


～新年度各グループ代表者をお知らせください～

- ★ 新年度のスタートにあたり、平成24年度代表者名簿を作成したいと思いますので、平成24年度の各グループの代表者名の提出をお願い致します。

同封の用紙に記入の上 3月31日 までに 返信用封筒にてご返送ください。

締め切りまでに代表者が決定しない場合は、その旨担当ブロック幹事までご連絡ください。



- ★ 平成24年度代表者会は5月16日(水)を予定しています。詳細につきましては、次号でお知らせいたします。

クラウドソーシング時代の朗読ボランティア

阪上裕子

昨年夏、日本IBMの浅川智恵子さんを囲んでのディスカッションに参加しました。が、浅学にして機械音痴の私には、何が何やらチンプンカンプン。でも「朗読ボランティアにも、新しい時代の波がどんどん押し寄せているのだな」ということだけはひしひしと分かりました。この度、年頭にあたり紙面を頂きましたので、その時の様子をご報告いたします。

浅川さんは二年前にNHKの人気番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演されましたので、ご存知の方も多いと思います。24年前、デジタル点字システム(パソコン点訳)を開発し、今や世界中を飛び回って視覚障害者支援のプロジェクトを実施していらっしゃいます。

浅川さん : ソーシャルネットワークを使って、クラウドソーシングによる音訳を実現させたいのです。

阪上 : ???

浅川さん : ソーシャルネットワークとはツイッターやミクシーなどの、情報交換・情報共有のネットワーク。クラウドとは“雲”の他に“群れ”という意味を持ちます。

浅川さん：つまり、どこかで視覚障害者が『この本、いまずぐ読んで欲しいな』とネット上で発信すると、ネットワークの何人かが『私はここからここまで読む』『じゃ、その先は私が』と、クラウド“群れ”で対応する。仕事を分散して作業を早めるわけです。従来のようにデジターを制作して送付する、という形より遥かに早く、読みたい本が読めるのです。

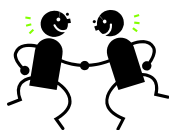
阪上：ふんふん。ネットワーク上の人誰でもどこでも“ちょこっとボランティア”ができるってことです。

浅川さん：群れ——クラウドで対応するからボランティアの負担も少ないのです。ただ、どんな読み方でも良いと言うわけにはいかないのです。やはり朗読ボランティアの方達のように聞きやすい読み方でないと。このシステムが実現したら、朗V連の皆さんにも是非参加していただきたいと思っています。

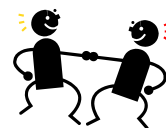


著作権等の問題もあるようですが、浅川さんがおっしゃるとすぐにでも実現できそうな気がする、そんな強さとしなやかさをもった方でした。

テクノロジーの発達と共に様々な方法が生まれ、利用者は好きな方法を選択できる時代になりました。一方まだまだ過渡期でもあり、利用者の多様なニーズに応えるには、各グループで最善の活動方法は何かを常に考えることが必要だと思いました。



グループ紹介 数珠繋ぎ



グループ紹介数珠繋ぎは 13 回目を迎えます。今回は C-2 洲本市「グループ潮騒」と C-4 淡路市「東浦朗読ボランティアグループひとみの会」を紹介します。

洲本市 グループ潮騒

私たちのグループは今年で設立 19 年目になります。メンバーは現在 9 名で活動しています。活動の 1 つの柱は、神戸新聞の主にあわじ版をテープに録音して視覚障害者に届けることです。「おくやみ」といって、淡路島内の亡くなった人の名前と死亡年月日・年齢・住所の書かれた欄、又 全国紙・全国放送で報道されない淡路島のニュース（特に火事・交通事故・強盗事件があったといった三面記事）を知りたいという利用者が多く、それに対応しています。

蔵書テープでも、淡路島の作家・淡路島に関する内容のものを主に取り上げて作成しています。他に社協だよりも発行しています。

新しいリスナーの開拓をあせり、当方はテープを届けることを了解していただいたと思い、次々とテープを送っていたところ、何でこんなテープが送られてくるのかと、苦情を寄せられたこともあります。その方にはその後了解していただき、テープを聞いていただく様になりました。（失敗談です）

又、デジター図書作成を行おうと準備中です。



勝矢京子

淡路市 東浦朗読ボランティアグループ ひとみの会

ひとみの会は、うぶ声をあげて21年、現在13名で活動を続けています。

主な活動は、目の不自由な方への情報提供として、淡路市広報（毎月）・市議会だより・じんけん・社協だより（年4回）を録音して聞いていただいています。

ひとみの会は、2008年からデイジーに挑戦。デイジー淡路の安岡秀美先生にご指導をお願いしました。

試作のデイジー図書（CD）を早速利用者さんに聞いていただきました。“音がきれい、テープとぜんぜん違う”、“料理のところを素早く選べる”など積極的な利用者さんの声に推されながらの勉強・・・ほとんどのメンバーがパソコンを使うのがはじめてというところから3年。現在は夢組と花組（ステキでしょ!!）の二つの班で活動。デイジー（CD）とテープの両方を製作しています。

また、その他の活動として、年1回の盲老人ホーム五色園へ「声の宅配便」訪問。地域の小学校・保育所・作業所へ出向き読み聞かせ。クリスマス会や社協まつりに参加しています。



社協まつりではひとみの会の活動を見ていただき、経験していただきます。これからもメンバー一同力を合わせて利用者さんの「ひとみ」となるよう活動を続けて参ります。

山本幸子

ご案内

山田朗読研究会

～～20周年記念公演のご案内～～

日時	2012年3月29日(木) 開演 13時30分 (開場 13時)
場所	神戸文化ホール 中ホール(電話 078-351-3535)
入場料	2,000円 (障害者の方 1,000円)

☆ お問い合わせ、チケット申し込み先

木村章子

チケットは**必ず FAX**で、**グループ名、連絡先、枚数**を書いてお申し込み下さい

当日、受付で代金と引き換えにお渡します

☆ 12時より会場入り口で、入場整理券を配布します

(会場へのアクセス) 地下鉄……「大倉山」駅西口からすぐ
 J R ……「神戸」駅北へ徒歩 10分
 神戸高速……「高速神戸」駅北へ徒歩 8分



東播ブロック交流会

1月31日(火)に加古川総合福祉会館にて 第8回東播ブロック朗読ボランティア交流会が開かれました。二年に一度、朗V連加入の6グループが集まり、朗読発表や意見交換を行います。

かしの実による「新解魚類図鑑」では荒唐無稽な話をユーモアたっぷりに朗読していただき、会場からは絶えずくすくす笑いが。むつみ会の「新・平家物語」は琴や笛の音をバックに琵琶法師さながらの迫力ある語りから始まり、今を旬の物語にあつという間に引き込まれ、のぎくの「どんぐりと山猫」では登場人物の個性を活かした朗読に皆さん微笑みながら聞き入っていました。

意見交換会では小グループに分かれてのフリートーク。各グループの活動状況についての話はもちろんですが、やはり図書のデイジー化に関心が集まったようです。デイジーを始めてからは録音作業がとても楽になったという意見が目立った反面、機械操作のできるようになるまでが大変という悩みも多く聞かれました。



朗読発表



意見交換

そのほかには利用者との交流をどのように図っているかなど、短い時間でしたが皆さん積極的に発言され、有意義な時間でした。

また会の始めと終わりにはピアノ演奏もあり、心豊かな午後を過ごすことができました。

参加した方からは「東播ブロックならではの等身大の朗読が聞けて良かったです。今回初めて皆さんの前で発表する機会をいただきましたが、それに向けて練習する中でグループの絆が深まったように思いました。」との感想や、「ポシェットで各グループのデイジー録音の導入状況についての特集を組んで欲しい」というご意見もありました。

音声パソコンを始めてみませんか？

～ 見えない見えにくい方のための音声パソコン体験講習会 ～

日時	2012年3月10日(土)、17日(土) (全2回) 13時30分～16時(予定)
参加費	無料
定員	5名(事前予約制)
内容	音声パソコンの体験講習 画面を読み上げる音声ソフトを使ってパソコンを操作します。
会場	中山記念会館内 神戸ライトセンター (神戸市中央区神若通 5-3-26)
主催	中山視覚障害者福祉財団
後援	日本ライトハウス 神戸アイライト協会

★お問い合わせ・予約申込み★

神戸アイライト協会

電話 078-221-6019 火曜～土曜 (9時半～16時半)

ご案内

ロービジョン サポートフェア

2012年3月3日(土) 12時~16時

神戸市立葺合文化センター (大ホール)
& 神戸ライトセンター

2会場にて同時開催

目が不自由になるといろいろな困難に直面します。歩行、文字や映像からの情報入手、日常生活動作、レクリエーションなど多くの困難があります。

しかし、少しの工夫や介助があったり、便利な用具を利用したりすると改善されることもたくさんあります。そういった情報や用具を紹介するイベントです。ロービジョンケアの講演会や、白杖、拡大読書器、ルーペ(拡大鏡)、便利グッズの展示紹介、視覚障害に関する相談会、音声パソコン体験を実施します。ぜひ、皆様、お気軽にご来場ください!

第一部 特別講演

『全国ロービジョンネットワーク構想における眼科医療の役割』
国立障害者リハビリテーションセンター病院
第二診療部長 仲泊 聡 氏

第二部 講演『兵庫県版スマートサイトつばさについて』

山縣眼科医医院長 山縣 祥隆 氏

展示会場

- * 音声パソコン体験
- * 機器展示、便利グッズ紹介
- * ロービジョン(視覚障害)相談

主催：特定非営利活動法人 神戸アイライト協会
後援：神戸市、中山視覚障害者福祉財団、神戸ライトセンター運営協議会、
きんきビジョンサポート、ちゅうおう障害者地域生活支援センター

お問い合わせ先 特定非営利活動法人 神戸アイライト協会
〒651-0067 神戸市中央区神若通 5-3-26
中山記念会館内 神戸ライトセンター
電話 078-221-6019 (電話受付：火曜~土曜 9時30分から16時30分)

参加費無料
詳細は次ページ

